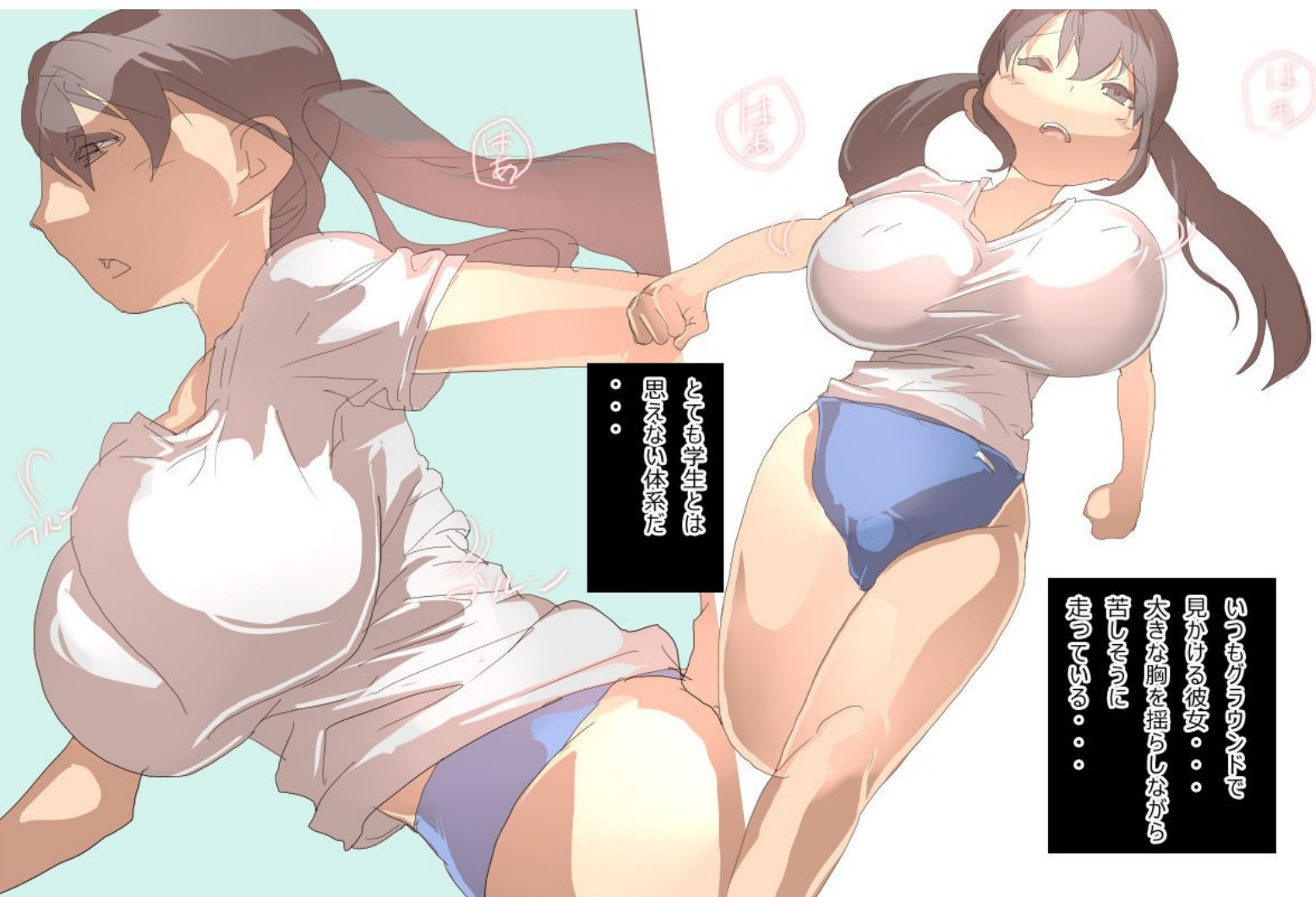






○るーじゅら 2011





とても学生とは思えない体系だ
。。。。

いつもグラウンドで
見かける彼女。。。
大きな胸を揺らしながら
苦しそうだ
走っている。。。

おそらく彼女を走らせている教師は必ず
彼女の胸のゆれを楽しんでるに違いない。。。

回りの学生はその彼女の魅力に気づいているだろうか？

まだ彼女の魅力に気づけない者もいるだろう。

しかし女の体に興味を持ってきた者なら

確実に彼女の胸の大きさに目を奪われるはずだ。

そして、そんな彼女の体を夢想し、オカスにする。

そんな願望を持っているはずだ。



教室での彼女は孤独だ。
大きな胸に近寄る
女も男もない。



先生、
お話しが、

ぞい

あ

そんな彼女が私に
相談をもちかけて
きた。。。

彼女が相談してきた内容は
ほとんど頭に入ってこなかった。
私は目線を悟られまいと必死だった。
しかし頭の中ではどんどん妄想が
膨らんでしまう。



それからという物は彼女の相談によく乗ってあげました。
しかし、彼女の見せる憂鬱な表情に喜びすら感じることがなくなって
しまった。





そして私はある日、学生達を使って
彼女を体育館の中に閉じ込めました。

それはもちろん彼女の
全てを奪ったために。。。。



彼女を後ろから
襲います。
大きな胸を鷺つかみに
して。。。

服をめくりあげ、胸を
揉みまわります。
暖かくやわらかい感触が
手に伝わってきます。

!!

モミ

ムニ

そして彼女のスポンを
無理やりスリおろします。
もう理性で衝動を抑える
事はできません。

はあ

はあ



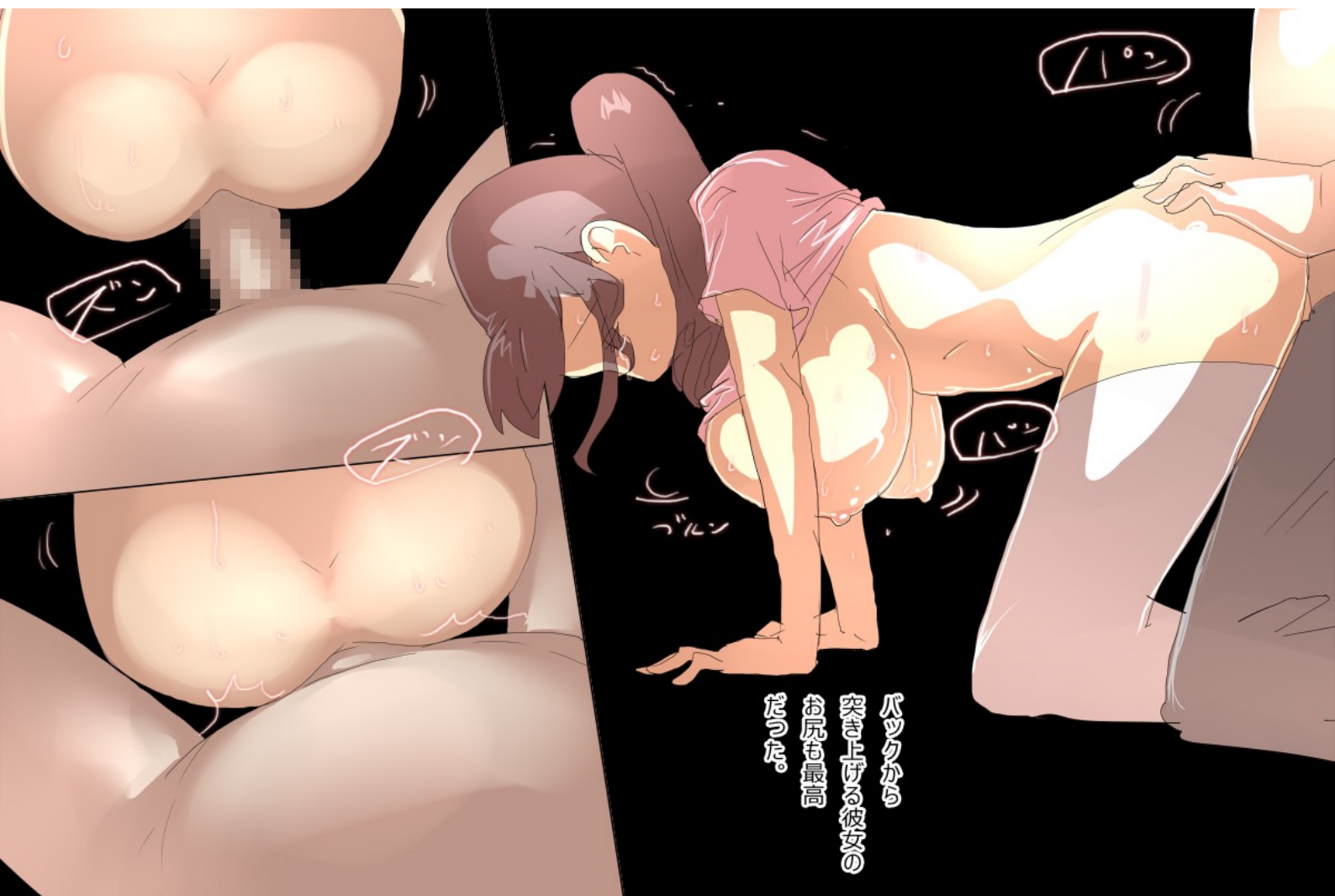
頭の中は彼女をレイプするところ
事でうつぱいです。

ケツの間に自分の物を押し当てた
だけにイキそうになります。





私は嫌がる彼女を存分に犯した。
大きな胸がぶるんぶるんと揺れる。





ももるなまのま
中出っ・・・
ものすごい達成感と
満足感があつた。

そして中出しして泣いている彼女を
カメラに何枚も収めた。

その後も何度も楽しんだ後で
私は彼女にこの事をばらされたくなければ
言う事を聞くようにと何度も
念を押した。

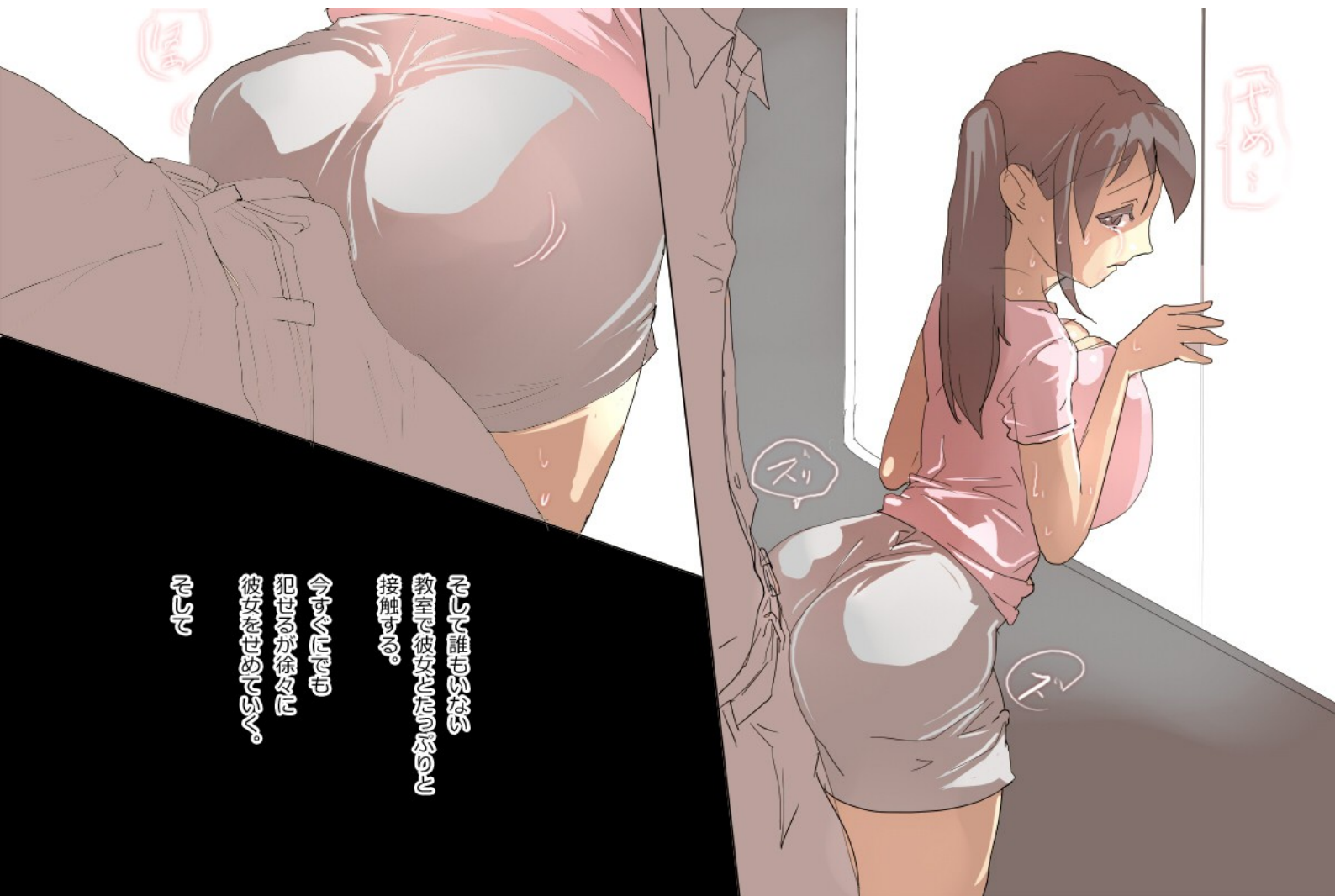


そして私は彼女を
いつも放課後に残すように
した。



あの写真をちらつかせ
私は彼女に関係をせまった。





そして誰もいらない
教室で彼女とたうふりと
接触する。

今すぐでも
犯せるが徐々に
彼女をせめていく。

そして



その言葉は、俺の
心臓を打ち抜いた。



イマラチで

まるでマンホール

回の中にまで深く突っ込んで

そのまま射精。



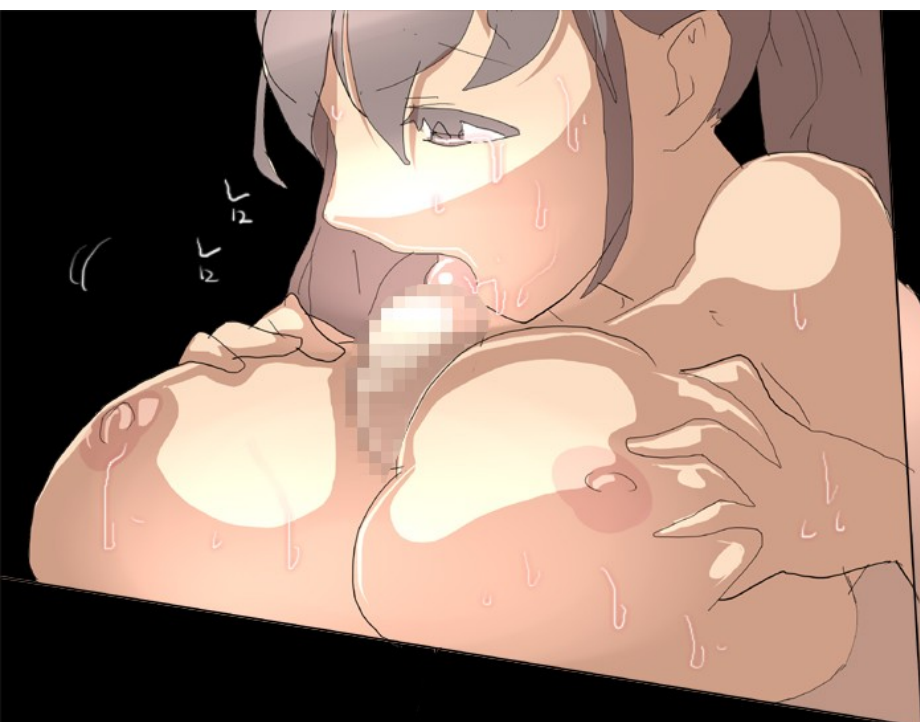
回内射精で彼女の口の中は
私の精子でいっぱいだった。。。
それでも満足せずバイスリです。

はあ

はあ

ハッ

ハッ



大きい胸でのパイヌリは
たまらない。
彼女は俺の言うとおり
パイヌリをしながら
チン〇を
舐めてくれた。







俺のを舐めた
かわりに私も
彼女のアソコを
舐めてあげた。



そのまま
挿入。

あ

奥までずっぽり
入ってる。

ズズズ

パン

パン

ちゅ



そろそろのち
中絶一回目。

アソコ

まだまだ
俺のアソコは
収まらない。
すぐに2回目だ。

ズッ
ズッ
ズッ



バックから犯すと
征服感がより一層増す。

そして又、中出し。



その後も私は毎日彼女を犯し続けた。

アダルトビデオや風俗では味わえない禁断の
行為に私は理性を完全に失っていた。



私は彼女のお腹に

変化があるのを気づいていたが

その後の事を考えてなかった。

毎日のように中出ししてはいるのか。。。。

「先生私。。。妊娠してみたい。」

私はふと我に返った。

そして

この日から彼女の姿を学校で見えなくなった。





